CAINZ

ホームセンター CAINZ が RPA で業務改革、なぜ BizRobo! を選択？ どうやって ロボット を内製化？

2019.09.18 BizRobo! LAND 2019 TOKYO

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

自己紹介

野原 昌崇（ノハラ マサタカ）

略歴

慶應義塾大学 文学部 卒業
輸入商社 起業
IT企業 Sales・Marketing
アパレルビジネス 起業（ブランド・直営店・EC）
IT企業 事業開発

入社

2018年3月 株式会社カインズ 入社

現在

業務インフラ改革本部
ITイノベーション推進室 室長

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

会社概要

株式会社 カインズ

設立	1989年3月
資本金	32億6,000万円
代表者	代表取締役会長　土屋 裕雅 代表取締役社長　高家 正行
従業員数	11,477名（2019年2月末）
事業内容	ホームセンターチェーンの経営
売上高	4,214億円（2019年2月末）
店舗数	218店舗（2019年9月18日）
本部所在地	埼玉県本庄市早稲田の杜

ベイシアグループ

設立	1959年
企業数	29社
売上高	8,887億円（2019年2月末）
店舗数	1,857店舗（2019年2月末）
主な企業	株式会社 ベイシア 株式会社 カインズ 株式会社 ワークマン 株式会社 セーブオン ベイシア流通技術研究所

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

アジェンダ

ホームセンター CAINZ が RPA で業務改革、なぜ BizRobo! を選択？
どうやって ロボット を内製化？

RPAツール選定

開発体制 構築

第1部　なぜ BizRobo! を選択？ 選考過程のご紹介

第2部　CAINZ の RPA に対する考え方

第3部　どうやって BizRobo! で業務改革を実現？
開発チーム内製化の取り組みご紹介

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

第1部
なぜ BizRobo! を選択？ 選考過程のご紹介

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-1.現在の CAINZ BizRobo! 運用状況は？

導入1年 で「年間 6,000時間 削減（正社員36人月）」を 社内SE 3人月 で達成



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-2.なぜ BizRobo! を選択したのか？

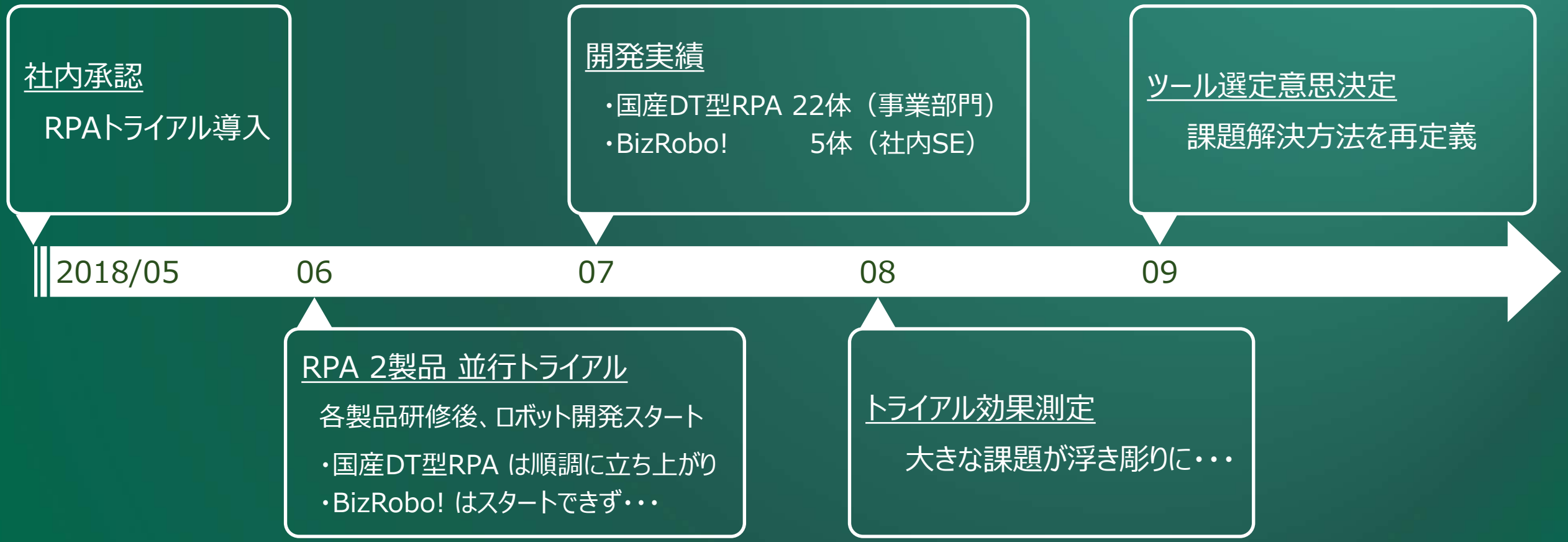
国産デスクトップ型RPA と比較検討、BizRobo! の 投資対効果 が圧倒的に優れていた！

	国産DT型RPA	BizRobo!
開発容易性	○	×
機能	×	○
運用容易性	×	○
コスト	×	○
全社展開	×	○

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-3.RPA選考の概要は？

国産DT型RPA と BizRobo! の並行トライアルを3ヶ月間実施



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-4.トライアル導入時の想定は？

導入時には「ローコスト・ローリターンの国産DT型RPA」と「ハイコスト・ハイリターンのBizRobo!」と想定

		国産DT型RPA	BizRobo!
開発容易性	想定	○	▲
	結果	○	×
機能	想定	▲	○
	結果	×	○
運用容易性	想定	▲	○
	結果	×	○
コスト	想定	○	▲
	結果	×	○
トライアル担当部署		経営企画部（リテラシー低）	eコマース部（リテラシー高）

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-5.並行トライアル期間はどうだった？

eコマース部が BizRobo! にギブアップするも、国産DT型RPA でロボットを多数開発！

	経営企画部	eコマース事業部	ITイノベーション推進室
初期割当	国産DT型RPA	BizRobo!	–
割当更新	国産DT型RPA	国産DT型RPA	BizRobo!
開発ロボット数	2体	20体	5体
コメント	現業が忙しく開発ノウハウの蓄積ができず	1人の猛者は現業を抱えながら10体構築	BizRobo!の開発難易度の確認が目的
リテラシー	低	高	SE

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-6.トライアル結果はどうだった？ （課題抽出）

eコマース部 現場メンバーは完全に「国産DT型RPA推し！」
eコマース部 責任者 からは クレーム受領、本質的な課題 が浮き彫りになる

		国産DT型RPA 評価		
開発容易性	想定 結果	○ ○	リソースの適性に依存	好きな人はずっとロボットを作り続ける （現業放棄）
機能	想定 結果	▲ ×	途中でロボットが止まる	それすら自分で克服する喜びに昇華 （投資対効果無視）
運用容易性	想定 結果	▲ ×	完全なブラックボックス	RPAツールが属人的になる
コスト	想定 結果	○ ×	費用対効果 測定不能	クライアントPCライセンスが増え続ける
責任者コメント		RPA導入で残業コストが増加、業務効率の向上は計測不能 現場の統制が取れないから引上げて欲しい！		

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-7.どうやって課題を解決した？

CAINZ

ガバナンス を効かせた RPA全社展開 を見据え、ロボット開発に「専任リソース体制」を、RPAツール には「BizRobo!」を選択

	国産DT型RPAの課題	BizRobo!での解決方針
開発容易性	リソースの適性に依存	ロボット開発の専任リソース体制を決断
機能	途中でロボットが止まる	機能の高いBizRobo!で止まらないロボット開発
運用容易性	完全なブラックボックス	ロボット開発承認のプロセス管理を整備
コスト	費用対効果の測定不能	ロボット管理台帳で費用対効果を計測
コメント	スケール（全社展開）に時間がかかることを受け入れ、ITイノベーション推進室に「専任リソース体制」を持つことに	

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-8.「ハンドフォーク」と「フォークリフト」

CAINZ

共にCAINZ 店舗のバックヤードで大活躍！

画像データ

（配布資料 省略）

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-9.国産DT型RPA と BizRobo! の比較

現場で一定以上の効果をあげるツール導入は、「開発の難しさ」と「運用の難しさ」について 正面から解決する必要 がある！

			国産DT型RPA		BizRobo!
開発容易性	想定 結果	○ ○	すぐに使える	▲ ×	専門技術が必要
機能	想定 結果	▲ ×	限定的な問題解決	○ ○	問題の根本解決が可能
運用容易性	想定 結果	▲ ×	運用管理 困難	○ ○	運用管理 可能
コスト	想定 結果	○ ×	管理できない分だけ高くつく	▲ ○	費用対効果の測定が可能
全社展開	想定 結果	－ ×	管理できずカオス状態に	－ ○	体制整備でスケール可能

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

1-10.第1部 まとめ

国産デスクトップ型RPA と比較検討、BizRobo! の 投資対効果 が圧倒的に優れていた！

スタート	並行トライアル（ 国産DT型RPA・BizRobo! ） 3ヶ月間
途中経過	現場メンバー：BizRobo! ギブアップ、国産DT型RPA ロボット多数開発 責任者：「国産DT型RPA＝現場のオモチャ」、本質的な課題 が浮き彫りに
結　論	ガバナンスを効かせたRPA全社展開が重要 ロボット開発は 専任リソース体制 を選択、RPAツールは BizRobo! を選択

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

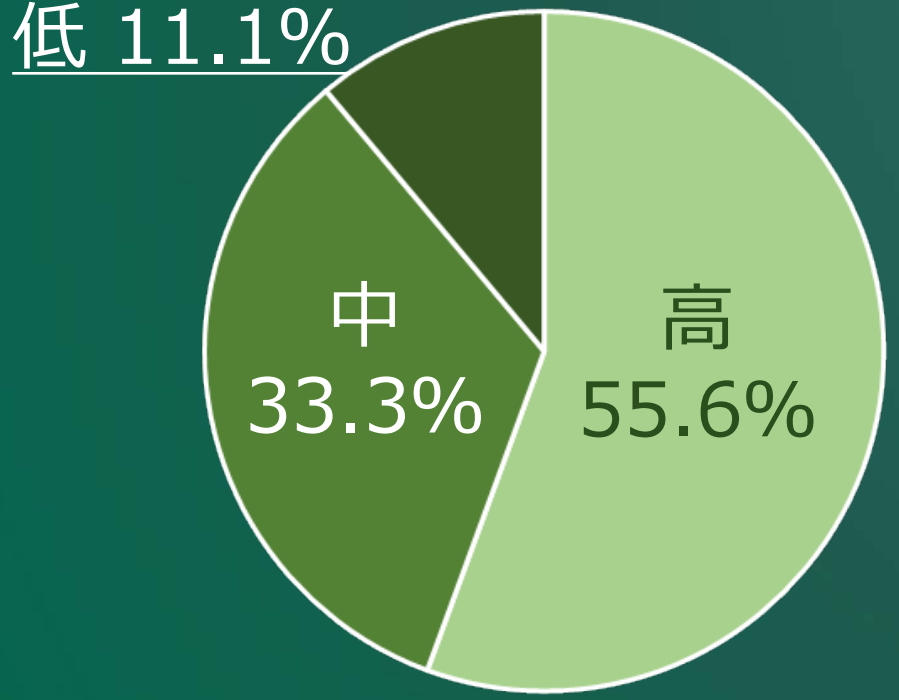
第2部
CAINZ の RPA に対する考え方

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

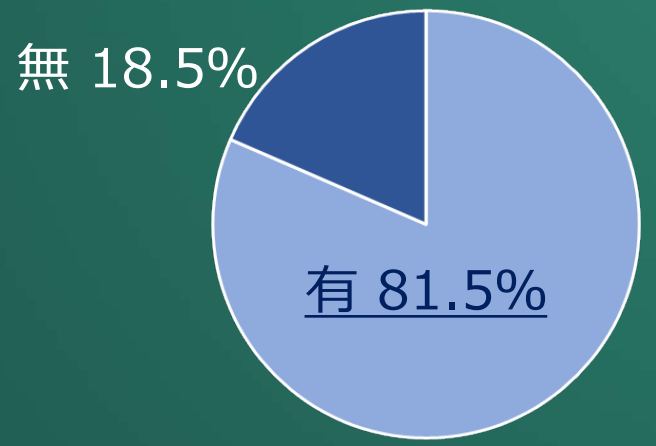
2-1.BizRobo! 導入事例の分析

事例企業（投資対効果が出ている）は PC普及率 が高い、また ロボット化業務 のシステム開発代替性（RPAでなくてもいいのでは？）は非常に高い

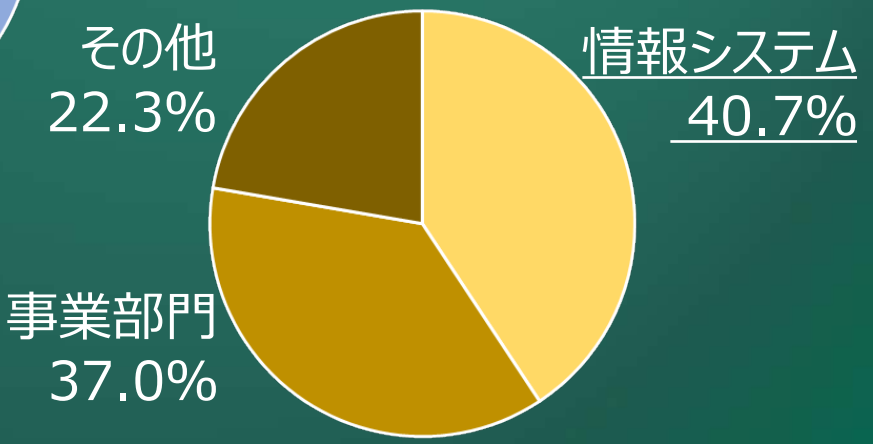
従業員PC普及率（想定）



システム開発代替性（想定）



ロボット開発体制（想定）

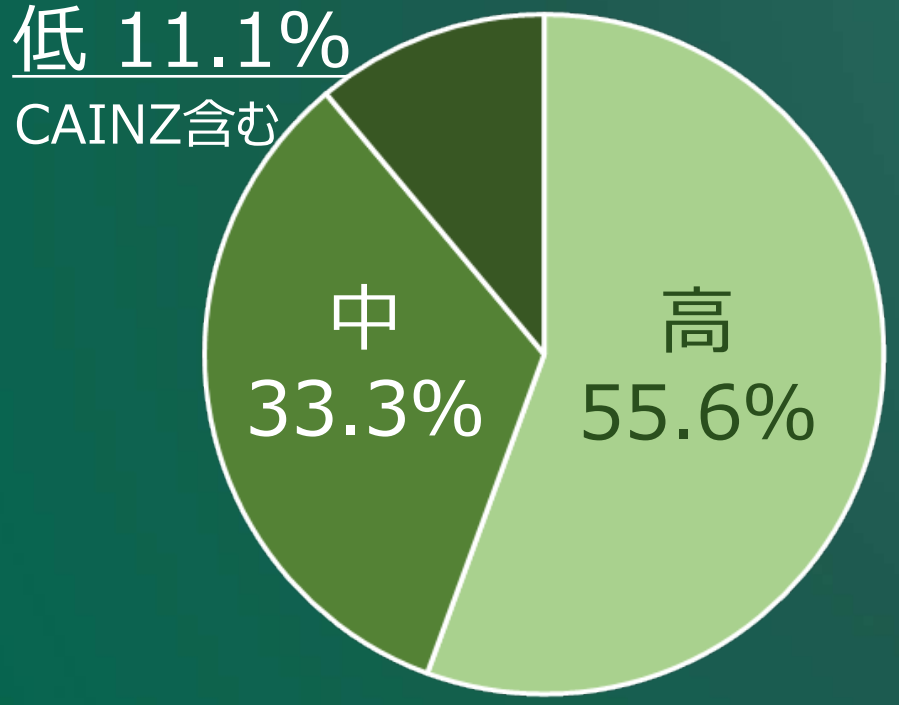


© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

2-2.CAINZ のRPA適性は？

基幹業務が 店舗作業 で RPAターゲット から外れている

導入事例の従業員PC普及率（想定）



従業員のほとんどは店舗配属

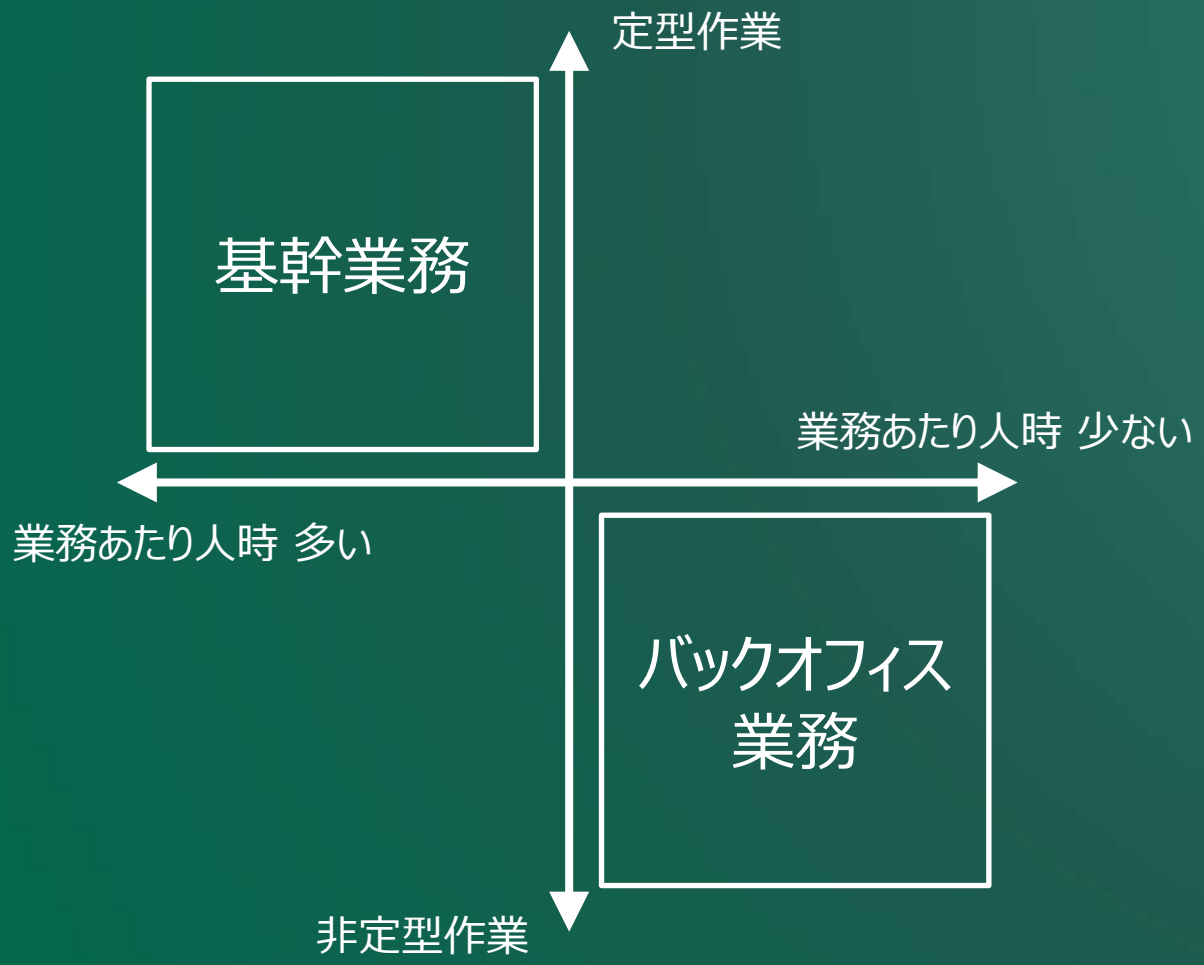
店舗業務のほとんどはPCレス作業

IT（PC）リテラシーは高くない

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

2-3.RPA適性が高い業務とは？

定型的で人時が多い「基幹業務」に RPAが刺さる と 投資対効果 が高くなる



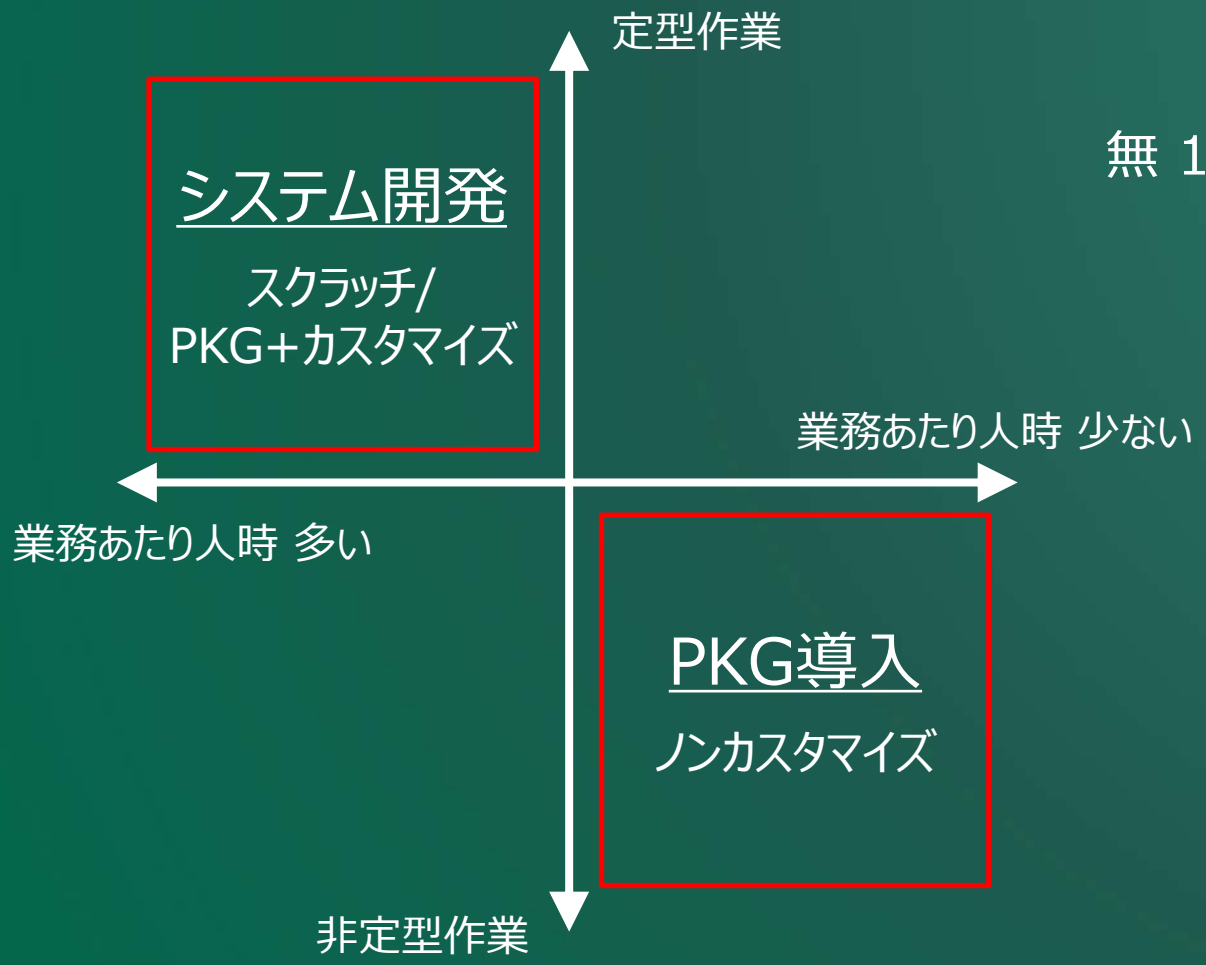
	基幹業務	BO業務
条件分岐	単純	複雑
作業頻度	多い	少ない
担当者	多い	少ない
作業時間	長い	短い

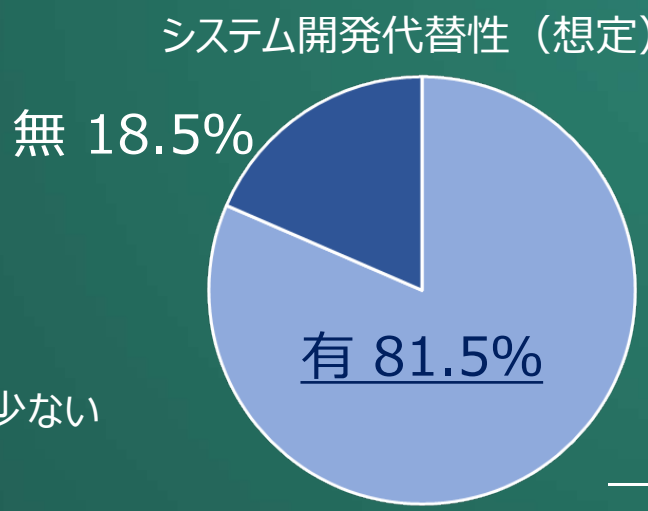
© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

2-4.各業務への正しい対応策は？RPAが必要な理由は？

CAINZ

業務改革 は システム開発（PKG導入）で対応するべきだが（安定性担保）、機動力の高い「RPAによる補完」は非常に効果的





	SI＆PKG	BizRobo!
修正容易性	×	○
導入工期	×	○
コスト	×	○
安定性	○	×

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

2-5.第2部 まとめ

RPAは全ての課題を解決してくれる「魔法のツール」ではない
システム開発との相互補完 を目指しながら、その 機動力を活かす ことで効果を上げる

RPA適性	CAINZ のRPA適性は低い 基幹業務が店舗作業（PCレス）
投資対効果	基幹作業にRPAが刺さると投資対効果が高くなる
相互補完	基幹業務にはシステム開発で対応するべきだが、RPAの機動力を活用した補完は非常に効果的

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

CAINZ

第3部
どうやって BizRobo! で業務改革を実現？
開発チーム内製化の取り組みご紹介

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

［再掲］1-1.現在の CAINZ BizRobo! 運用状況は？

導入1年 で「年間 6,000時間 削減（正社員36人月）」を 社内SE 3人月 で達成



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

［再掲］1-7.どうやって課題を解決した？

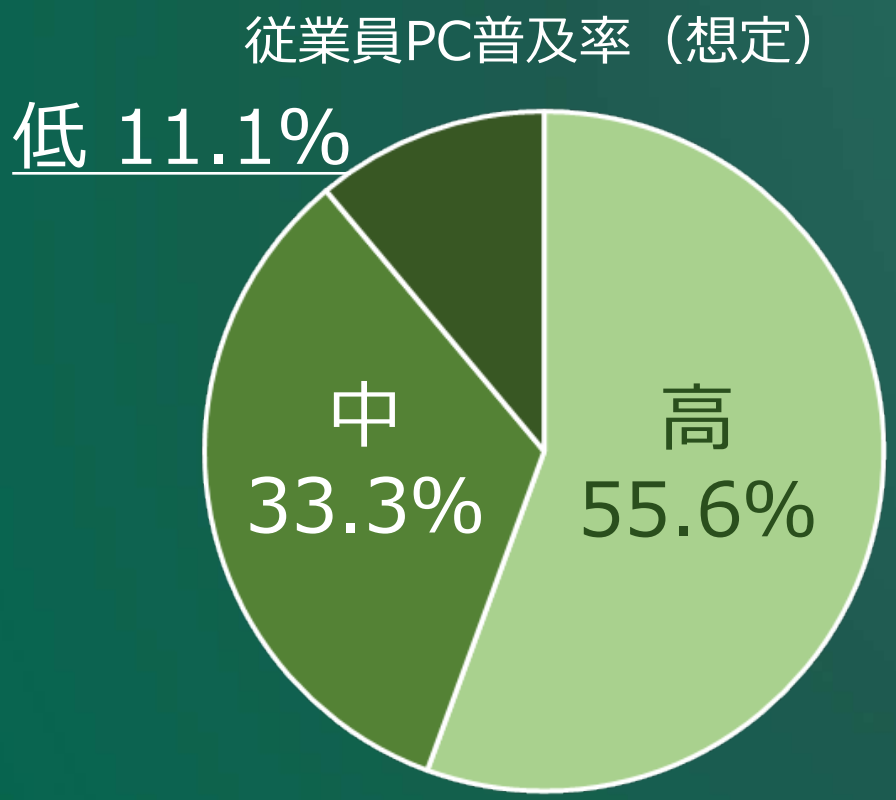
ガバナンス を効かせた RPA全社展開 を見据え、ロボット開発に「専任リソース体制」を、RPAツール には「BizRobo!」を選択

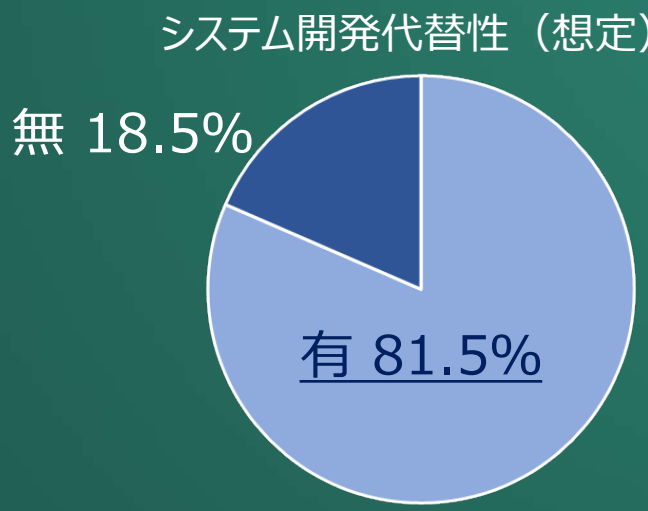
	国産DT型RPAの課題	BizRobo!での解決方針
開発容易性	リソースの適性に依存	ロボット開発の専任リソース体制を決断
機能	途中でロボットが止まる	機能の高いBizRobo!で止まらないロボット開発
運用容易性	完全なブラックボックス	ロボット開発承認のプロセス管理を整備
コスト	費用対効果の測定不能	ロボット管理台帳で費用対効果を計測
コメント	スケール（全社展開）に時間がかかることを受け入れ、ITイノベーション推進室に「専任リソース体制」を持つことに	

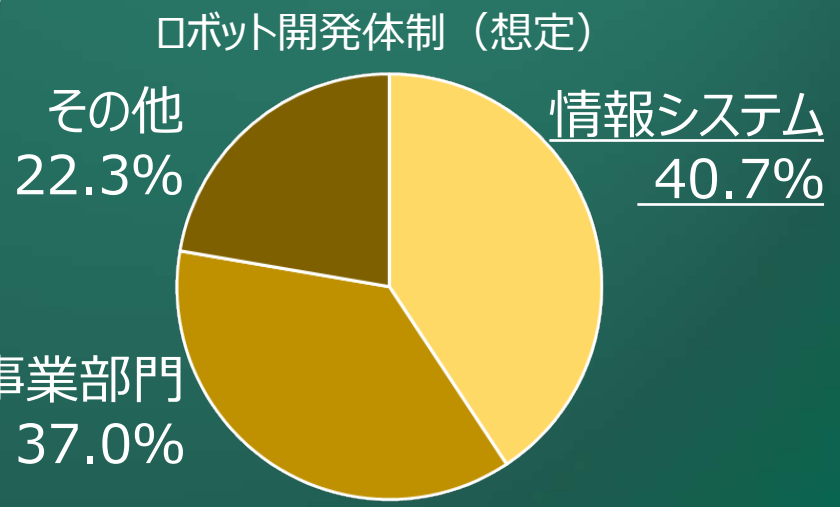
© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

［再掲］2-1.BizRobo! 導入事例の分析

事例企業（投資対効果が出ている）は PC普及率 が高い、また ロボット化業務 の システム開発代替性（RPAでなくてもいいのでは？）は非常に高い







© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-1.CAINZ が BizRobo! で業務改革を実現するためには？

トッププライオリティは「開発チームの内製化」だが、ロボット化業務を選定する
「運用定型化」、スケールをインフラで支える「プラットフォーム整備」も重要

開発チーム内製化 ＝ 作り手のスケール

運用定型化

投資対効果を前提にした業務選定

プラットフォーム整備

スケーラビリティを支えるシステムインフラ

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-2.開発チーム内製化のアプローチ全体像は？

スケーラビリティ担保のため「プロパー社員」による 開発チーム内製化 を目指す！

STEP	ファースト・ペンギン	デュプリケーション（複製）	大量生産
所属	ITイノベーション推進室		事業部門
体制	専任リソース体制		

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-3.ファースト・ペンギンのご紹介！

開発チーム内製化のため、リーダー候補として 経営企画部 佐々木さん がアサイン

画像
データ
（配布資料 省略）

佐々木 裕司（ササキ ユウジ）

略歴
- 東京農業大学 卒業
- 株式会社カインズ 入社
- 伊勢崎店 ペット用品担当
- 梓川店 HCラインMGR
- カインズ栃木店 店長

本部
- 2016年 人事・教育部 配属

現在
- 経営企画部　企画担当

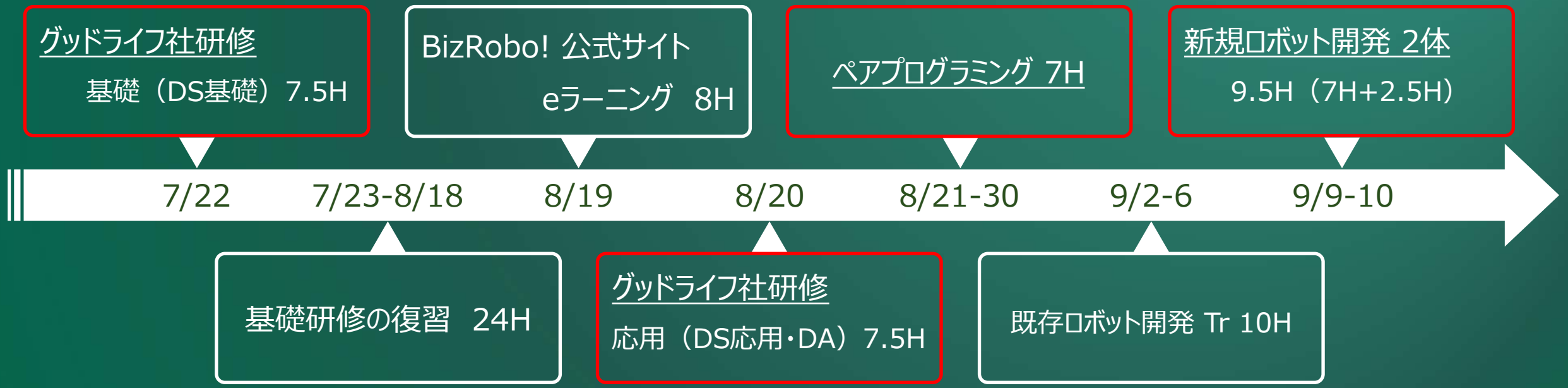
ITリテラシー
- Excel IF関数 を使ったことがない

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-4.ファースト・ペンギン（佐々木さん）育成の速報

CAINZ

Excel IF関数を使ったことがなくても、グッドライフ社研修 2回 と ペアプログラミング を中心に 1.5ヶ月（64H）でロボット開発可能に！



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

［再掲］1-5.並行トライアル期間はどうだった？

eコマース部が BizRobo! にギブアップするも、国産DT型RPA でロボットを多数開発！

	経営企画部	eコマース事業部	ITイノベーション推進室
初期割当	国産DT型RPA	BizRobo!	–
割当更新	国産DT型RPA	国産DT型RPA	BizRobo!
開発ロボット数	2体	20体	5体
コメント	現業が忙しく開発ノウハウの蓄積ができず	1人の猛者は現業を抱えながら10体構築	BizRobo!の開発難易度の確認が目的
リテラシー	低	高	SE

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-5.グッドライフ社 BizRobo!研修 のご紹介

「驚くほど安価」で「驚くほど効果的」な研修内容



BizRobo! DS基礎

研修内容：DS基本機能

アウトプット：DSを利用したロボット開発が可能に！

感想　　：楽しかった！（感覚的にはゲーム）
研修が丁寧で解りやすい感想

BizRobo! DS応用・DA

研修内容：DS応用機能・DA基礎機能

アウトプット：BizRobo! ロボット開発が可能に！

感想　　：この研修でロボット開発のイメージができた
DS基礎研修の復習をしておく必要あり
この後の知識の定着化（実戦的Tr）が重要

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-6.ペアプログラミングの驚くべき効果とは？

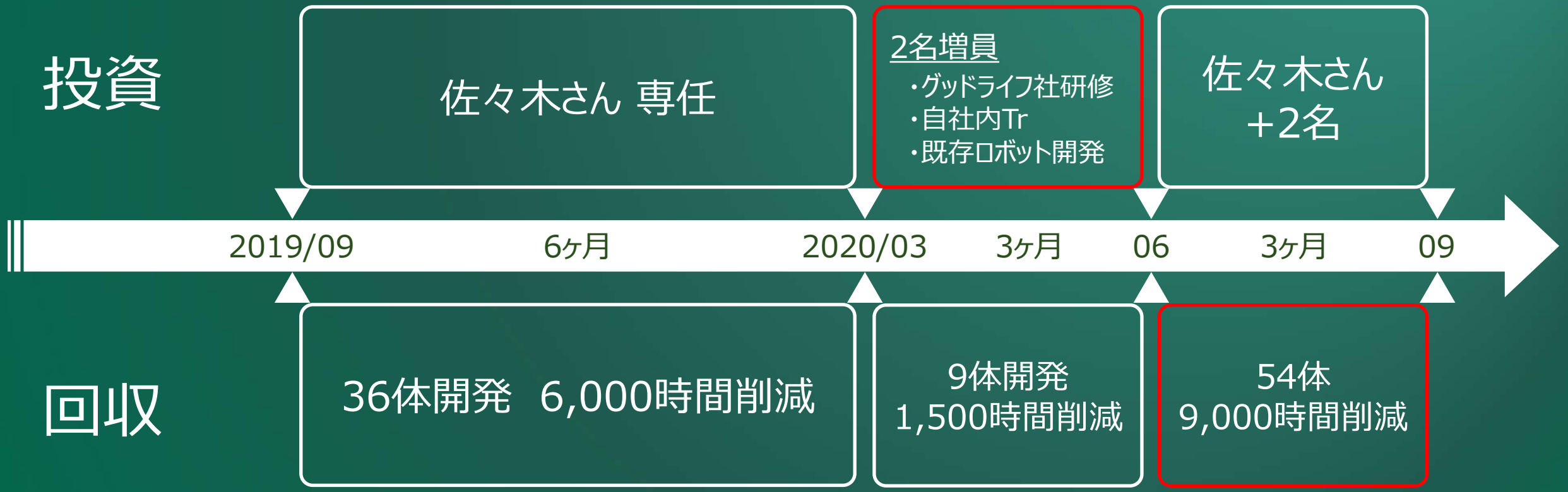
ペアプログラミング とは「1台のPCで2人のプログラマーが共同で開発を行なう手法」
BizRobo! では、15分単位でトレーナーとトレーニーが交互に開発

画像データ
（配布資料 省略）

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-7.構築チーム内製化 の 今後スケジュール は？

佐々木さんが半年間ロボット開発実績を積み、来期（3月）2名増員、3ヶ月間で
デュプリケーション（複製）に挑戦！（累積削減人時 20千時間超へ）



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-8.運用定型化 の 取り組み のご紹介

専任リソース体制 による開発体制だからこそ、「無駄なロボット開発を防ぐフィルター」「ロボットの確実性を担保するテスト」「障害検知するスキーム」を整備

事業部門コミュニケーション

事前チェックシート
- ・RPA化適性チェックフィルター
- ・削減人時想定をチェック

業務フロー＆ルールシート
- ・仕様確認
- ・開発工数と削減人時の確認

ロボット開発判定

ロボット協業の注意事項

開発プロセス管理

内部テスト
- ・事業部門がロボットの動きを確認

結合テスト
- ・テスト用のファイルを事前準備
- ・出力ファイルは別名アップロード

稼動テスト
- ・3回連続成功までローンチせず

運用監視プロセス

DS稼動監視
- ・障害検知ロボット
  BizRobo!・Zapier・Twilio

DA稼動監視
- ・正常終了通知（Slack）
- ・異常発生（スクショ＆Slack）

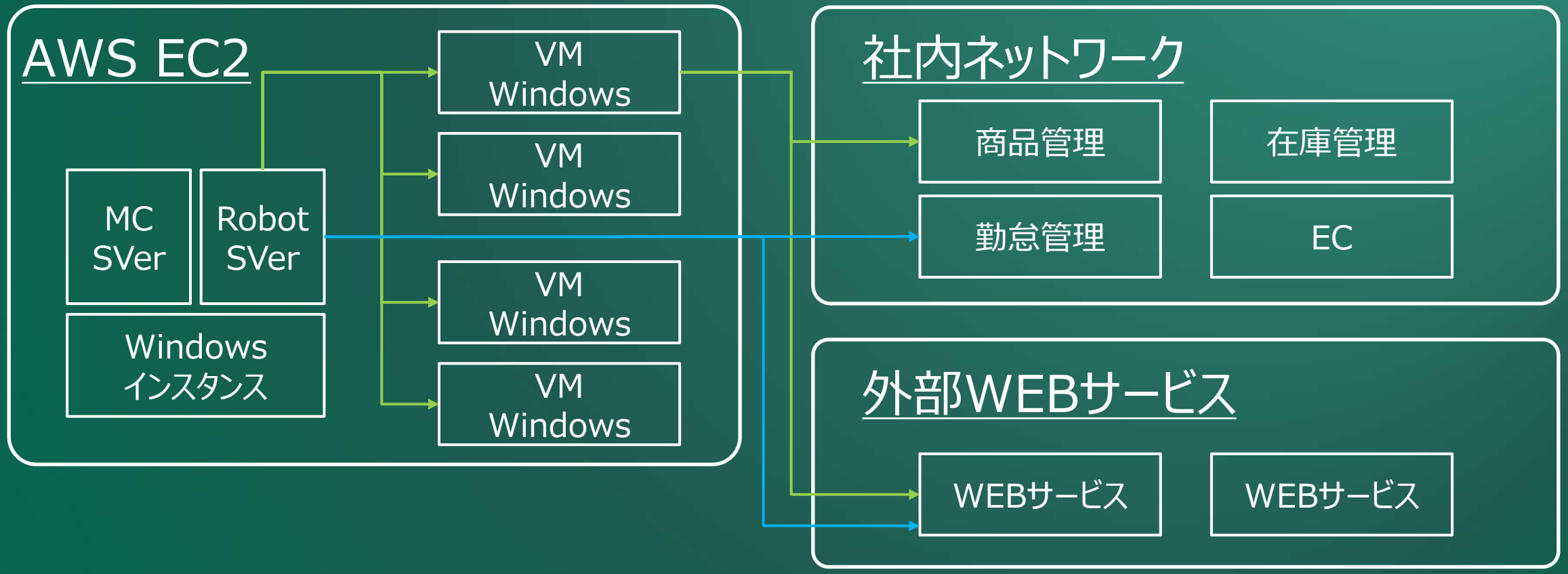
アラート発報（Slack＆Twilio）

リカバリー作業は事業部門担当

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-9.プラットフォーム整備 のご紹介

DAクライアント増加へ対応するため（DAロボット開発が多い・事業部門ごとにDA端末が必要）、クライアントをノートPCから VM（AWS EC2）に移行予定



© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

3-10.第3部まとめ

CAINZ

スケーラビリティ担保のためプロパー社員による 開発チーム内製化 を目指す！

3ステップ	ファースト・ペンギン育成・デュプリケーション（複製）・大量生産
ファーストペンギン	経営企画部 佐々木さん が グッドライフ社研修 のおかげで 0.5人月 で ロボット開発可能に成長
今後の課題	佐々木さんのノウハウ蓄積・追加メンバーへのデュプリケーション

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

最後に・・・

ホームセンター CAINZ が RPA で業務改革、なぜ BizRobo! を選択？
どうやって ロボット を内製化？

第1部　なぜ BizRobo! を選択？

国産デスクトップ型RPA と比較検討、BizRobo! の投資対効果が
圧倒的に優れていた！

第2部　CAINZ の RPA に対する考え方

システム開発との相互補完を目指しながら、その機動力を活かすことで
効果を上げる

第3部　どうやって BizRobo! で業務改革を実現？

スケーラビリティ担保のためプロパー社員による開発チーム内製化を目指す！

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.

Thank you !!　ご清聴ありがとうございました

2019.09.18 BizRobo! LAND 2019 TOKYO

© 2019 CAINZ CORPORATION. All rights reserved.